

社会民主主義 フォーラム

全国 通信

No. 1

2021年
1月13日

〒102-0083
東京都千代田区麹町1-6-9
DIK麹町ビル704号室
Tel: 03-6272-8135
Fax: 03-6272-8136
発行責任者: 中川直人

総選挙闘争に勝利し、 政治を大きく変える飛躍の1年に



新年あけましておめでとうございます。

昨年11月の社民党臨時全国大会で、立憲民主党への合流をめぐる1年あまりの党内議論について、立憲民主党への移行と社民党の存続それぞれの選択をお互いに認め合う結論を確認しました。

この確認に基づき、すでに昨年末から立憲民主党への移行手続きが各地で始まっています。軌を一にして、中央段階で政治団体「社会民主主義フォーラム」の設立届が受理され、都内に小さいながらも事務所を構えることができました。各県段階でもフォーラムの支部組織の設立が進められています。

フォーラムに参加する組織、会員が昨年にも増して励まし合い、支え合いながら立憲民主党の活動を担い、同時に、暮らし、平和、そして憲法を守る運動を働く人、市民の人たちと一緒に前進させる、そんな1年にしていきたいと思います。

今年は、必ず、解散総選挙が闘われます。政治の流れを大きく変える、その一翼を私たち社会民主主義フォーラムが担い、総選挙闘争で飛躍を勝ちとりましょう。

2021年1月

社会民主主義フォーラム設立準備会 呼びかけ人代表 高田 良徳
(香川県議会議員)

設立総会を開きます

社会民主主義フォーラムの第1回総会(設立総会)を下記日程で東京都内で開催することとしました。

■日時: 2月28日(日) 13:00~16:00

■場所: 全水道会館 5階中会議室

■議題: 経過報告、活動計画、規約採択、役員選出、財政など

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえオンラインとの併用を検討しています。詳細は追って連絡いたします。

事務所が決まりました

昨年末、東京都内に社会民主主義フォーラムの事務所を構えました。自治体政策研究会との同居です。住所等は以下の通りです。



〒102-0083 東京都千代田区麹町
1-6-9 DIK麹町ビル 704号室

■電話: 03-6272-8135

■Fax: 03-6272-8136

■Mail: forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp

地下鉄半蔵門線・半蔵門駅「3」出口
徒歩1分。麹町警察署隣のビルです

立憲民主党への移行、 社会民主主義フォーラム結成の大きなうねりを！

社民党の存続と立憲民主党への移行を認め合った昨年11月の社民党臨時全国大会を受け、年末に吉田ただとも参院議員、吉川はじめ衆院議員が立憲民主党に入党届を提出。また、地方組織でも福井県連

合、宮城県連合、山形県連合などが解散大会を開催。立憲民主党への移行と社民フォーラム設立の動きが本格化しています。円滑な合流に向け、がんばりいきましょう。

国会の動き

吉田参院議員、吉川衆院議員が立憲民主党に入党



昨年12月24日、吉田ただとも参院議員と吉川はじめ衆院議員は国会内で立憲民主党の福山哲郎幹事長（写真中央）と面会し、入党届を提出。立憲民主党の水岡俊一参院議員（写真右から2人目）と横光克彦衆院議員（写真右）も同席する中、入党は即日、受理されました。また、これ

に先立ち、同日の社民党全国連合常任幹事会で両名の離党・役職辞任も承認されました。

入党届提出後の会見で吉田参院議員は「社会党、社民党で培った理念や政策、組織運動をしっかりと立憲民主党で生かして、野党第一党としての基盤が一層強化されるよう、努力を重ねたい」と決意を述べました。吉川衆院議員も「8年近く続いた安倍政権とその垂流の菅政権が続く限り、国民生活は一向に良くなる。コロナ対応も後手後手だ。政治の状況を変えていくために大きな固まりが必要だ」と強調しました。

福山幹事長は「一騎当千の議員が入党してくれてありがたい」と歓迎の言葉を送りました。

なお、1月12日の立憲民主党常任幹事会において、吉川衆院議員が同党国対委員長代理、吉田参院議員を常任幹事及び選対委員長代理とすることが、枝野幸男代表から報告されました。

地方の動き

社民県連を解散、社民フォーラム宮城を結成



社民党宮城県連合は昨年12月26日、仙台市内で第29回臨時大会を開催し「社民党宮城県連合の解散と立憲民主党への合流」方針を全会一致（採決し出席代議員41人全員の賛成）で可決し、社民党から立憲民主党・社民フォーラムへの組織的移行を確認しました。

臨時大会後、「社民フォーラム宮城」の結成総会、「立憲民主党第二県連」の結成大会が行われました。歴史的な

大会となった立憲民主党への合流は立憲野党勢力の大きな固まりを宮城の地から作り、「政権交代」を実現するための大きな一歩になると確信しています。社民党の自治体議員14人全員が合流し、立憲民主党宮城は国会議員や地方議員37人の組織となり、これに社民党の党員が加わります。

社民党県連合の解散に伴い、宮城県議会、仙台市議会の会派名は新年から「社民フォーラム県議団」「社民フォーラム市議団」に変更しこれまで同様、住民の暮らしを守り、格差のない平和な社会の実現に取り組みます。

4月に予定される栗原市議選に佐藤悟さん、高橋勝男さん、登米市議選に須藤幸喜さんが挑戦します。いずれも社民党公認として議席を守ってきた現職の3人が、次回は立憲民主党公認で闘う予定です。自治体選挙、総選挙必勝に全力をあげます。

年明けの1月12日の立憲民主党常任幹事会において、旧社民党宮城県連合所属の14人の自治体議員は、旧香川県連合所属18人の自治体議員と合わせ、立憲民主党への入党が了承されました。